

ふくいブランド全国発信強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県外向けのニュースをより多くのメディアへ届け、福井の知名度、魅力度を向上させる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 1,171万人 (R2)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、情報発信の絶対量を増やしていくとともに全国へ明るく楽しい話題を多く提供することにより、本県の魅力を発信する。												
[事業内容] (1) 首都圏における「しあわせになるラジオ」配信 (2) ふるさと県民プロジェクト ・ ふるさと大使による情報発信 ・ ブランド大使活動支援												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

ふくいブランド全国発信強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	20,740					20,740						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		9,000	45,546	49,938	0	20,740	R3年度当初予算はR2年度2月補正予算に前倒し					
2月現計予算額の推移		3,294	45,546	147,128	0							
決算額の推移		3,294	34,270	64,144	0							
前年度までの 主な増減理由	R3年度当初予算をR2年度2月補正予算に前倒し											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) (12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)			
		実績 16,969	18,100	11,706								
活動指標	首都圏でのラジオ放送	(目標) (12)	(12)	(12)	(12)	(12)						
		実績 12	12	12								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
・PR資材の制作、取材支援 ・首都圏でのラジオ放送(年間12回)				・事業実績を踏まえ、印刷製本費を見直し				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

メディアを活用した魅力発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力) 政策 [10 新幹線開業効果を最大限				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県外向けのニュースをより多くのメディアへ届け、福井の知名度、魅力度を向上させる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 1,171万人 (R2)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の開通に向け、情報量の絶対数を増やしていくとともに、明るく楽しい話題を多く提供していくことにより、本県の魅力度の向上を図る。												
[事業内容] 全国紙を活用し、恐竜博物館や食、歴史（一乗谷朝倉氏遺跡）など本県の地域資源を発信												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

メディアを活用した魅力発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率						□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	30,000					30,000								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						30,000								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) (12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)					
活動指標	新聞広告回数	(目標)				(2)								
		実績	16,969	18,100	11,706									
		実績												
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

トップブランドとタイアップした福井の魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	委託											
補助率												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県外向けのニュースをより多くのメディアへ届け、福井の知名度、魅力度を向上させる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 1,171万人 (R2)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、国内外で高い知名度、発信力を有する企業等と連携した恐竜や食、伝統工芸品等のプロモーションを実施し、本県のブランド力向上を図る。												
[事業内容] 本県の恐竜や食、伝統工芸品を活用した魅力発信 県の営業活動の中で、本県とのゆかりや時期、効果が高いと判断する企業から選定												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

トップブランドとタイアップした福井の魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	60,000				60,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						60,000						
2月現計予算額の推移					40,000							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年) (目標) 実績	(12,750) 16,969	(13,000) 18,100	(17,500) 11,706	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)			
活動指標	タイアップ企業数 (目標) 実績				(2)	(3)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・世界的企業ゴディバジャパンとともに「ふくいそばとチョコレート」のマリアージュキャンペーンを展開(R3.11.25~12.25) ・越前漆器の技法を用いたチョコレート用の小箱「パロタン」を首都圏のゴディバショップで販売 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

大阪・関西万博出展事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	実行委員会				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金、委託											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 本県産業の技術や観光地等の魅力を世界に発信し、本県の認知度さらには本県への旅行者数を向上させる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県 外国人延べ宿泊者数 平成30年 75,860人 令和元年 97,730人 令和2年 23,080人						
[事業目的] 令和7年に開催される大阪・関西万博において、関西広域連合のパビリオンへ出展し、本県の魅力を世界へ発信する。												
[事業内容] ・ 関西広域連合のパビリオンの基本計画策定、実施設計 ・ 展示アイデアの公募												
[受益者] 関西広域連合パビリオン来場者						[想定される受益者数] 約200万人(関西広域連合本部事務局による試算)						
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

大阪・関西万博出展事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司					
事業主体	実行委員会				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度		
事業実施方法	負担金、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	6,523				6,523											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						6,523										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年)	(目標) (85,000)	(100,000)					(400,000)	令和6年 40万人(ふくい観光ビジョン)							
		実績 75,860	97,730	23,080												
活動指標	関西広域連合パビリオン来 場者数(人)	(目標)						(2,000,000)	関西広域連合本部事務局による試算							
		実績														
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
								<input type="checkbox"/>	拡充	<input type="checkbox"/>	縮減	<input type="checkbox"/>	終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/>	継続	<input type="checkbox"/>	休止	<input type="checkbox"/>	完了			
								<input type="checkbox"/>	整理統合	<input type="checkbox"/>	廃止	<input type="checkbox"/>	その他			

映画「おしよりん」を活用したPR事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	映画「おしよりん」制作委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	負担金											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県外向けのニュースをより多くのメディアへ届け、福井の知名度、魅力度を向上させる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 1,171万人 (R2)						
[事業目的] 本県が舞台の映画「おしよりん」を活用し、北陸新幹線福井・敦賀開業に向け本県の魅力を全国に発信する。												
[事業内容] 映画公開にあわせて上映するPR映像制作費を負担 ・北陸新幹線沿線の魅力など、本県の地域資源の魅力を紹介する映像を制作し、映画とセットで上映												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

映画「おしよりん」を活用したPR事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司					
事業主体	映画「おしよりん」制作委員会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	10,000				10,000											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						10,000										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) (12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)							
活動指標	PR映像制作支援	(目標)				(1)										
		実績	16,969	18,100	11,706											
		実績														
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

福井を舞台とした映画等誘致事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課		課長名	長谷川 慎司										
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	■ 補助金	□ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度								
事業実施方法	補助金																					
補助率	10/10																					
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]					関連する県の計画等	[]															
[解決すべき問題・課題] 大規模な映画やドラマ等における本県の露出が進んでおらず、魅力発信につな がっていない。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 1,171万人 (R2)																
[事業目的] 本県を舞台とした映画・ドラマの誘致を進めることにより、本県の魅力を全国に発信し、知名度の向上と観光誘客の拡大を図る。																						
[事業内容] 補助内容 : 福井を舞台とした映画・ドラマの制作等に対する補助 現行補助制度の映画・地上波ドラマに加え、動画配信サービスオリジナル作成制作等に対する補助 県内でのロケ日数等に応じた補助メニューを新設 補助率 : 県10/10 補助上限額 : 1,000万円																						
[受益者] 映像制作者						[想定される受益者数]																
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)															
市町との連携状況						他県の状況																

福井を舞台とした映画等誘致事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助金					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	10/10					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	制度改正													
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		10,000	0	0	0	制度改正								
2月現計予算額の推移		16,500	0	0	0									
決算額の推移		16,500	0	0	0									
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 16,969	(12,750) 18,100	(17,500) 11,706	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)					
	実績				(2)	(2)								
活動指標	補助件数	(目標)												
実績														
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
								■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了				
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

福井の歴史魅力発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	委託、負担金											
補助率												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] ドラマや番組、小説等で福井を取り上げてもらい、福井の知名度、魅力度を向上させる。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 1,171万人 (R2)						
[事業目的] 一乗谷朝倉氏遺跡博物館開館やNHK大河ドラマの放送にあわせて、戦国時代ゆかりの本県の歴史資源を全国に発信する。												
[事業内容] (1) 首都圏においてトークショーを開催 (2) 歴史雑誌へのタイアップ記事出稿 NHK大河ドラマとの関連について、歴史を活用した誘客の主なターゲット層となる50、60代がメインの読者層となる歴史雑誌等で発信 (3) メディア (NHK等) への要望活動、番組関係者等への情報提供 ドラマや歴史番組、小説等で取り上げてもらえるよう営業を実施												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 大河ドラマ「青天を衝け」情報発信事業 (実績) ドラマ化に向けた営業活動を展開 歴史、旅雑誌において本県と大河ドラマ「青天を衝け」に登場する水戸天狗党のつながり、ゆかりの地を発信					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

福井の歴史魅力発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	委託、負担金					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	5,857				5,857											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						5,857										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) (12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)							
活動指標	雑誌記事掲載件数	(目標)				(2)										
実績		16,969	18,100	11,706												
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

恐竜ブランドキャラクタービジネス促進強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、企業による新規のジュラチック商品開発数が減少傾向にある。恐竜博物館機能強化や北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県外における福井の恐竜を全面に押し出したPR強化、ブランドキャラクターを活用した恐竜ビジネスの推進が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] ジュラチック新規商品開発数 平成30年度 31件 令和元年度 26件 令和2年度 10件						
[事業目的] 公式恐竜ブランドキャラクター「Juratic」を活用し、新たな商品開発と販路拡大を進め、「恐竜といえば福井」を全国へ発信する。												
[事業内容] <div style="margin-left: 20px;"> <p><商品開発販売の促進></p> <p>(1) 「Juratic」デザインの監修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Juratic」を活用した商品の開発にあたってのデザイン監修 ・県内外の事業者に対する商品開発に向けた直接営業 <p><広報宣伝活動の強化></p> <p>(2) 県内外での「JuraticPR隊」の広報宣伝活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着ぐるみとMCによる効果的な宣伝活動を県内外で実施 ・県内：恐竜博物館・保育園・幼稚園等、大型ショッピングセンター、各種イベント ・県外：大型商業施設、県外観光地等でのイベント実施 </div>												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

恐竜ブランドキャラクタービジネス促進強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H24 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,553			(諸) 630	9,923							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		11,027	11,017	19,456	10,289	10,553	R4年度は、R2年度にリニューアルした着ぐるみの修繕費分が増額					
2月現計予算額の推移		11,027	11,017	19,456	9,689							
決算額の推移		10,966	10,815	18,000								
前年度までの 主な増減理由		R3年度については、前年度に着ぐるみリニューアル経費として計上していた分が減額										
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ジュラチック累計商品数 (アイテム数)	(307)	(337)	(367)	(397)	(427)	(800)	(1,500)	企業が毎年30アイテム以上商品化			
	実績	362	388	398								
活動指標	商品・サービスの商品支援 (監修)件数	(307)	(337)	(367)	(397)	(427)	(800)	(1,500)	企業が毎年30アイテム以上商品化			
	実績	362	388	398								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
R2年度における商品開発数(累計)は、新規10件に留まったものの、累計57社398アイテムとなり、当初の成果目標等は達成した。				年間の新規商品開発数が減少傾向にあることから、令和4年度はより積極的な営業活動を実施していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井駅前恐竜大変身！恐竜コスプレ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] コスプレ事業の効果を最大限発揮するため、周辺イベントとの連携が必要となる。						[問題・課題を表す客観的データ] ・R3年度の福井駅周辺でのハロウィン・クリスマスを絡めたイベントはコロナウイルスの影響を受け、未実施。 ・1日当たりの降車人数(R2) JR福井駅 20,860人/日 JR金沢駅 46,820人/日						
[事業目的] JR福井駅前の恐竜モニュメントに季節に合わせた衣装を装着させることにより、話題を創出しメディアや来県者のSNSによる情報発信を促進するほか、来県者のリピーター増加を図る。												
[事業内容] 福井駅前恐竜モニュメント3体にコスプレ衣装を装着 ・ハロウィン期間にハロウィンの衣装を装着 ・クリスマス期間にサンタクロースの衣装を装着												
[受益者] 福井駅利用者						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	福井市やまちづくり団体が行うイベント等との連携を検討					他県の状況						

福井駅前恐竜大変身！恐竜コスプレ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	660					660						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				3,960	660	660						
2月現計予算額の推移				3,960	0							
決算額の推移				2,173								
前年度までの 主な増減理由		R3年度はコスプレ衣装の作成が完了したため事業費が減少した										
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								「恐竜王国福井」のPRを目的とした事業のため、成果指標になじまない			
活動指標	(目標) 実績											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
コロナウイルス感染拡大防止の観点から、コスプレの装着を見送り								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

恐竜エリア拡大プロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1/2													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題] 県都にぎわい創生協議会の新幹線開業部会において「ウエルカム恐竜増殖プロジェクト」を掲げており、恐竜を活用した福井駅周辺での観光コンテンツの魅力向上が急務						[問題・課題を表す客観的データ] 1日当たりの降車人数 (R2) JR福井駅 20,860人/日 JR金沢駅 46,820人/日								
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、「恐竜といえば福井」と感じられるエリアを整備するため、県内に様々な恐竜コンテンツを配置し、来県者に「恐竜王国福井」をPRするとともに、恐竜を活用したにぎわいの創出を図る。														
[事業内容] (1) 福井駅周辺の恐竜コンテンツ整備 (2) 市町による恐竜コンテンツ整備 市町が行う恐竜をテーマにした造形物設置等にかかる経費への支援 ・補助率：県1/2(市町1/2) ・対象経費：恐竜をテーマにした造形物の設置経費等														
[受益者]						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

恐竜エリア拡大プロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	1/2					□ その他								
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	115,000				115,000									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						115,000								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績								福井市の福井駅周辺整備の支援を目的とした事業のため、成果指標になじまない					
活動指標	(目標) 実績								福井市の福井駅周辺整備の支援を目的とした事業のため、成果指標になじまない					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

ふくいの食ブランド力向上事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、“売り”となる料理の磨き上げを行い、食による誘客拡大を図ることが必要である。飲食店における料理やサービスの向上を図るため、料理人等のスキルアップが急務である。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 1,171万人 (R2)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、「食で稼ぐ」環境を整備するため、福井県の食ブランド向上につながる飲食店等の開設を支援し、魅力的な食を楽しむ「場」の拡大を図る												
[事業内容] 福井県の食ブランドの向上につながる飲食店の開設経費を支援 企画コンペを実施し、外部の専門家の意見をもとに補助対象事業（5件/年）を選定 ①審査項目 ・国内外から集客できるシェフが上質な料理を提供すること ・SDGsに対応した店舗であること ・県産食材を積極的に活用すること ・店舗装飾や食器、什器等に越前漆器や和紙等福井の伝統工芸品を使用すること ②対象経費：店舗改修費、厨房設備費等 ③補助率：県1/2（補助上限：8,000千円）												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

ふくいの食ブランド力向上事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	40,156				40,156							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						40,156						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数（千人） （※暦年） （目標） 実績	(12,750) 16,969	(13,000) 18,100	(17,500) 11,706	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人（観光新戦略 H26～R1） 令和6年目標値 20,000千人（観光ビジョン R2～R6）			
活動指標	福井県の食ブランドの向上 につながる飲食店の開業数 （目標） 実績				(5)	(5)	(5)	すべての審査項目を満たす店舗				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

「食で稼ぐ」地域づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R9 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、“売り”となる料理の磨き上げを行い、食による誘客拡大を図ることが必要である。飲食店における料理やサービスの向上を図るため、料理人等のスキルアップが急務である。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 1,171万人 (R2)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、都市圏のターゲット層に対して“売り”となるよう料理をブラッシュアップするとともに、高品質な料理やサービスを提供できる人材を育成する。												
[事業内容] (1) “売り”となる福井の食ブラッシュアップ ・ブラッシュアップ指導および売り方戦略の開催 ・ブローチャーの制作 ・飲食店や食品メーカー等を対象とした「食で稼ぐ秘訣塾」の開催 ・メディア等を活用した新名物の情報発信 (2) 都市圏で活躍するトップシェフ等による料理講習「食文化魅力創造スクール」の開設												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

「食で稼ぐ」地域づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率						□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	34,442				34,442									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				0	0	34,442	ブラッシュアップを進めてきた5品目を名物料理や観光目的となる料理とするため、ブローシャーの制作やメディアを活用した情報発信にかかる増額							
2月現計予算額の推移				13,060	0									
決算額の推移				0	0									
前年度までの 主な増減理由		R3年度当初予算をR2年度2月補正予算に前倒し												
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) (12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)					
		実績 16,969	18,100	11,706										
活動指標	「福井食文化魅力創造スクール」修了者数	(目標)			(30)	(30)	(195)	(195)						
		実績			—									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
「食で稼ぐ秘訣塾」を開催し、113名の飲食関連事業者が参加した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、「福井食文化魅力創造スクール」の開講を延期したことから活動指標を達成できなかった。				ブラッシュアップを進めてきた名物料理の情報発信を強化する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

「御食国・和食の祭典」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	実行委員会				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	負担金											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 「御食国若狭と鯖街道」を拠点とした福井の「鯖」など、地域の食や食文化や嶺南の魅力を一体的に発信する						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 1,171万人 (R2)						
[事業目的] 御食国と呼ばれた三重県、兵庫県および都であった京都府とともに「御食国・和食の祭典」を開催し、御食国若狭の歴史と文化を全国に発信												
[事業内容] 御食国若狭の歴史と文化についてメディアとのタイアップ記事広告を掲載												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

「御食国・和食の祭典」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	負担金											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,000				3,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		5,000	5,000	5,000	5,000	3,000	イベント開催を取りやめ、情報発信を実施するため減額					
2月現計予算額の推移		5,000	5,000	0	3,400							
決算額の推移		5,000	5,000	0								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								本事業は4府県で構成する実行委員会により実施されるため、実行委員会において成果指標を決定			
活動指標	(目標) 実績											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルスの影響により、令和3年度は兵庫県での開催を中止し、御食国の食文化の情報発信を実施した				イベント開催を取りやめ、情報発信を実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,000	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

見たい・行きたい・味わいたい福井の名物発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 「越前がに」につぐ、観光客を魅了し福井へ来るきっかけとなりえる「食」や「食文化」のブランディングが必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 1,171万人 (R2)						
[事業目的] 福井の食のメディアミーティング、ツアーを開催し、食のトレンドに敏感なメディア関係者の目線から見た北陸新幹線福井・敦賀開業時に目玉となりえる福井の名物を全国に発信												
[事業内容] (1) メディアツアーの開催 ・食関係のメディアとメディアミーティングを行い、視察先を決定し食ツアーの実施 ・開催時期 11月、2月 (嶺北・嶺南各1回) ・参加メディア 10社程度/1回 (2) メディアへの情報提供等 ・メディア等への福井の食の情報提供、PR等												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

見たい・行きたい・味わいたい福井の名物発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率						□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	12,718	6,359			6,359		地方創生推進交付金							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				13,323	12,718	12,718								
2月現計予算額の推移				13,323	12,718									
決算額の推移				13,013										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) (12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)					
活動指標	メディアツアー参加社数 (社)	(目標)		(16)	(16)									
		実績	16,969	18,100	11,706									
		実績		16										
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
令和3年10月15日にメディアミーティングを開催し、43名のメディア関係者が出席した。またメディアツアーを2回開催し、計16名のメディア関係者が参加した。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

北陸新幹線沿線地域と連携した福井の食魅力向上・発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	委託											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、首都圏在住の軽井沢別荘所有者等に対して魅力発信を強化するとともに、交流人口を拡大することが急務						[問題・課題を表す客観的データ] 令和2年 福井県観光客入込数 1,171万人						
[事業目的] 北陸新幹線沿線地の観光地である長野県軽井沢町と連携し、別荘所有者や首都圏からの観光客等に対し、福井県の歴史、文化、観光地や食材等の情報発信を行い、本県のブランド力向上および交流拡大を図る。												
[事業内容] (1) 新幹線沿線エリアにおける料理イベントの開催 (2) レストランを活用した継続的な食の魅力等の発信 (3) 福井ゆかりの地での福井の魅力発信												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

北陸新幹線沿線地域と連携した福井の食魅力向上・発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	委託											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,552	5,276			5,276	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				9,264	11,765	10,552						
2月現計予算額の推移				9,264	11,445							
決算額の推移				9,200								
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) (12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)			
活動指標	軽井沢でのイベントに参加 する生産者等	(目標)		(5)	(20)	(20)	(40)	(40)				
		実績	16,969	18,100	11,706							
		実績			6							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、8月に開催予定だったイベントの開催を3月に延期した。				事業実績を踏まえ広報経費を見直し				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,213	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

恐竜博物館機能強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみ広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の効果を最大限活用するため、令和5年夏のリニューアルオープンを目指す。						[問題・課題を表す客観的データ] 来館者が新型コロナウイルスの影響により50万人以上減少 R元:約93万人→R2:約35万人						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業効果を最大活用するため、世界に誇る恐竜化石の研究ならびに情報発信の拠点を目指し、恐竜博物館の機能強化整備を進める。												
[事業内容] 恐竜博物館の増改築・展示工事、大規模修繕 総事業費 約93億9千万円 継続費 8,487,704千円(令和3年～5年度) 開館時期 令和5年夏(予定)												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 恐竜博物館機能強化検討事業 (実績) 恐竜博物館機能強化方法の検討を実施					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	地元勝山市を始め、周辺市町と恐竜博物館機能強化に伴うWGを開催し、機能強化に伴う方策を検討					他県の状況						

恐竜博物館機能強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率						□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	4,449,765		4,361,000		88,765	地域活性化事業債								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				1,035,079	2,089,364	4,449,765	建築工事、展示工事に着手							
2月現計予算額の推移				902,079	184,604									
決算額の推移				635,280										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	入館者数	(目標)	(900,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(900,000)	(1,400,000)	(1,400,000)	北陸新幹線福井・敦賀開業、中部縦貫自動車道の効果を最大限活用するため140万人を目指す				
		実績	938,310	924,199	359,805									
活動指標		(目標)								事業の性質上、活動指標になじまないため、設定しない				
		実績												
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
・ 造成工事の完了 ・ 建築工事、展示工事の実施				建築工事、展示工事を継続				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

恐竜博物館リニューアル記念 常設展示バリューアップ事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみ広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 恐竜博物館の機能強化にあわせ、常設展室においても魅力向上のための展示更新が必要						[問題・課題を表す客観的データ] H21～：カマラサウルス実物全身骨格展示 H27～：アロサウルスの実物全身骨を含む実物全身骨格化石等34点の展示 R1～：バシロサウルス全身骨格化石を含む4体を季節展示と入れ替え						
[事業目的] 令和5年夏の恐竜博物館リニューアルオープンを記念して、常設展示についても新たなランドマークとなる標本の追加や、既存の展示の更新を行うことで、常設展示においても「新しい恐竜博物館」を印象付け、リピーターを含めた来館者の増加を目指す。												
[事業内容] 世界的に価値のある実物化石展示コーナーの新設、恐竜全身骨格の追加展示 等												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 恐竜博物館機能強化事業 (役割分担) 機能強化事業では増築部分の展示を整備する。 本事業では、既存の常設展のリニューアルを行う。					
市町との連携状況						他県の状況						

恐竜博物館リニューアル記念 常設展示バリューアップ事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率						□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	250,000			繰入 250,000	0		地域振興基金からの繰入金							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						250,000								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	恐竜博物館来館者数 (目標)	(900,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(900,000)	(1,400,000)	(1,400,000)	北陸新幹線福井・敦賀開業、中部縦貫自動車道の効果を最大限活用するため140万人を目指す					
	実績	938,310	924,199	359,805										
活動指標	(目標)								事業の性質上、活動指標になじまないため、設定しない					
	実績													
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

恐竜博物館来館者ワクワク回遊プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県、事業者				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、委託、補助											
補助率	10/10, 1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]]	関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 恐竜博物館機能強化に向けて、市内・県内の回遊、混雑・渋滞への対応が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・観光消費額(1回あたり) 福井県15,100円 石川県20,600円 富山県19,500円 ※出展: じゃらん宿泊旅行調査2021 ・恐竜博物館の渋滞状況(平均) 令和元年度 2.0km 平成30年度1.8km						
[事業目的] 恐竜博物館への来館者による県内への回遊・宿泊を促進するため、勝山市や周辺市町、関係団体と力を合わせ、機能強化による新たな方策を進める。												
[事業内容] (1) 恐竜モビリティ・ステイサービス支援 ・恐竜列車整備 車両ラッピング、車内装飾を支援 ・恐竜バス運行 福井駅から恐竜博物館への恐竜バスの運行経費等を支援 ・恐竜ホテル改修 客室・共有スペースを恐竜仕様に改修する経費等を支援 補助率 県1/2(市町1/6、事業者1/3) 補助上限額 500万円/件 ・特典ノベルティの制作、配布												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		勝山市、あわら市、敦賀市、福井市と連携し、当該市町に恐竜ホテルを整備 大野市が所有する化石体験センターHOROSSA!に恐竜モニュメントを設置				他県の状況						

恐竜博物館来館者ワクワク回遊プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県、事業者				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営、委託、補助									経過年数		
補助率	10/10, 1/2									3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	117,411		58,000		59,411	一般事業債(地域鉄道対策)等						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			122,351	382,394	117,411	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恐竜列車の車両設計完了による減額 ・ 恐竜バス改修完了による減額 ・ 恐竜ホテル拡充による増額 						
2月現計予算額の推移			102,438	335,915								
決算額の推移			78,992									
前年度までの主な増減理由	R3年度は、恐竜列車の車両設計および改造、恐竜バスの車両購入、恐竜バス内部コンテンツの充実支援、恐竜博士ベンチの設置など事業実績に伴い事業費が増額											
[成果指標等の推移]												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	博物館来館者数 (目標)	(900,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(900,000)	(1,400,000)	(1,400,000)	北陸新幹線福井・敦賀開業、中部縦貫自動車道の効果を最大限活用するため140万人を目指す			
	実績	938,310	924,199	359,805								
活動指標	きょうりゅう電車・恐竜バスの運行日数 (目標)			(40)	(150)	(150)	(150)	(150)	恐竜列車とバスの運行日数			
	実績			24								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和4年度の変更点					事業評価				
車両整備	恐竜列車車両設計 2両 恐竜バス車両購入 1台		<ul style="list-style-type: none"> ・ 恐竜列車の導入支援 ・ 恐竜バスの運行 ・ 恐竜ホテル改修への支援を継続 					<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
運行日数	きょうりゅう電車 9日(見込み) 恐竜バス 99日(見込み)							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	264,983	
新型コロナウイルス感染症の影響(恐竜博物館の臨時休館)により運行日数を達成できなかった。		<input type="checkbox"/> 整理統合						<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

「恐竜＋北陸新幹線」関西圏PR事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	負担金、委託											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみ広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 関西圏における恐竜博物館のリニューアルオープンや福井の恐竜をPRし、新型コロナウイルス感染症により大幅に減少した来館者を増加に転じさせる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 来館者が新型コロナウイルスの影響により50万人以上減少 R元:約93万人→R2:約35万人						
[事業目的] 令和4年夏に開催を予定している「世界恐竜展 in ひらパー(仮称)」等において、恐竜博物館のPRや北陸新幹線京都・大阪延伸の機運を醸成することにより、本県への誘客を促進を図る。												
[事業内容] 「世界恐竜展 in ひらパー(仮称)」等における恐竜博物館PRコーナーの運営 実施場所 ひらかたパーク(大阪府) 等 実施期間 令和4年7月中旬～8月下旬 50日間程度(予定)												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 首都圏恐竜博物館PR事業(実績) 東京ドームシティにてPRコーナーを設置・運営した					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

「恐竜＋北陸新幹線」関西圏PR事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	負担金、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	9,672				9,672											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						9,672										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	恐竜博物館来館者数 (目標)	(900,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(900,000)	(1,400,000)	(1,400,000)	北陸新幹線福井・敦賀開業・中部縦貫自動車道の効果を最大限活用するため140万人を目指す							
	実績	938,310	924,199	359,805												
活動指標	開催日数 (目標)					(50)			7月中旬～8月下旬							
	実績															
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

第4次恐竜化石発掘調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみ広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 恐竜研究の拠点化、展示の充実により、教育文化施設として来館者に最先端の恐竜研究成果を提供する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 来館者が新型コロナウイルスの影響により50万人以上減少 R元:約93万人→R2:約35万人						
[事業目的] 平成元年から継続的に行われてきた恐竜化石調査事業は、平成25年度から第4次発掘調査を実施しており、今後さらに新たな恐竜化石の発見も期待できることから、令和4年度も引き続き調査を実施												
[事業内容] (1) 事業内容 ・ 掘削工事 (平成25年度～令和4年度) ・ 発掘調査 (平成25年度～令和4年度) ・ クリーニング (平成25年度～令和5年度) (2) 調査期間 ・ 今後も多くの成果を得ることが期待できるため、令和4年度まで掘削工事および発掘調査を実施する予定												
[受益者] 恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 約90万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 第3次恐竜化石発掘調査事業 (実績) 化石発掘数 2,100点 (フクイティタンの発表等を含む。)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

第4次恐竜化石発掘調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	23,873				23,873							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		42,837	42,497	23,845	23,873	23,873						
2月現計予算額の推移		42,837	42,497	23,845	19,596							
決算額の推移		42,720	42,459	17,084								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	論文等及び講演回数 (目標) 実績	-	-	-	-	-			研究内容によって回数変動するため、目標数値の設定にはなじまない。			
活動指標	調査日数 (目標) 実績	(42) 42	(41) 41	(41) 41	(42) 46	(42)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
竜脚類の連続足跡化石の発見、連結したカメ類甲羅化石の発見等				引き続き発掘調査を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

第5次恐竜化石発掘調査準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみ広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 恐竜研究の拠点化、展示の充実により、教育文化施設として来館者に最先端の恐竜研究成果を提供する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 来館者が新型コロナウイルスの影響により50万人以上減少 R元:約93万人→R2:約35万人						
[事業目的] 第4次恐竜化石発掘調査が令和4年度で終了することから、第5次恐竜化石発掘調査（令和7年度開始予定）のための準備												
[事業内容] 令和3年度 準備工事にかかる測量設計等 令和4年度 残土処分にかかる測量設計等 令和5年度 道路整備等の仮設工事 令和6年度 発掘予定地を覆っている表土部の除去、作業用道路の補修 令和7年度 表土の除去、調査開始												
[受益者] 恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 約90万人						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 第3次恐竜化石発掘調査事業 (実績) 化石発掘数 2,100点 (フクイティタンの発表等を含む。)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 第4次恐竜化石発掘調査事業 (役割分担) 第4次恐竜化石発掘調査を令和4年度まで実施				
市町との連携状況						他県の状況						

第5次恐竜化石発掘調査準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	14,994				14,994							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					15,605	14,994	事業進捗による減					
2月現計予算額の推移					10,930							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績	-	-	-	-	-			発掘調査実施のための準備であり、成果指標の設定にはなじまない			
活動指標	(目標) 実績	-	-	-	-	-						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
準備工事にかかる測量設計等を実施				引き続き、発掘調査準備を進める				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	611	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

中部縦貫自動車道の工事に伴う化石調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課		課長名	長谷川 慎司			
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開 始 年 度	H30	年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5	年度	
事業実施方法	直営									経過年数	5				年
補助率										5	年				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3	楽しみ広げる(創造力)]	関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題]					[問題・課題を表す客観的データ]										
恐竜研究の拠点化、展示の充実により、教育文化施設として来館者に最先端の恐竜研究成果を提供する必要がある。					来館者が新型コロナウイルスの影響により50万人以上減少 R元:約93万人→R2:約35万人										
[事業目的]															
中部縦貫自動車道のトンネル工事が勝山市北谷の恐竜化石発掘現場と同じ手取層群が分布する地域において行われることから、当該地域において化石調査等を実施する。															
[事業内容]															
(1) 調査内容															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中部縦貫自動車道工事に伴い排出された岩石の化石調査(通年) ・ 工事近隣の大野市和泉地区および五箇地区における手取層群の化石探索(9月から11月頃) 脊椎動物化石産出が判明した五箇地区仏原における発掘作業、調査 															
(2) 調査場所															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中部縦貫自動車道の各工事現場(現地調査)、角野ストックヤード・大納ストックヤード(小割り調査) ・ 化石産出が見込める和泉地区および五箇地区の手取層群の分布域 															
[受益者] 恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 約90万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)								
市町との連携状況	大野市との共同調査					他県の状況									

中部縦貫自動車道の工事に伴う化石調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,608				2,608							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		2,692	2,798	2,084	2,608	2,608						
2月現計予算額の推移		1,261	2,798	2,084	655							
決算額の推移		818	2,615	120								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	論文等及び講演回数	(目標) -	-	-	-	-			研究内容によって回数変動するため、目標数値の設定にはなじまない。			
		実績 47										
活動指標	調査日数	(目標) (53)	(51)	(51)	(51)	(51)			通年（和泉地区における探索調査は9月上旬から11月上旬までの約2か月間）			
		実績 53	51	51								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・五箇地区仏原において集中的な調査を新たに実施 ・国内では最古級となる哺乳類の化石や、トリティロドン類と呼ばれる哺乳類に似た爬虫類の歯の化石の発見を発表 				引き続き発掘調査を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

恐竜化石等共同調査研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H22 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみ広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 国内における恐竜研究の拠点化とネットワークの形成、展示の充実						[問題・課題を表す客観的データ] 共同研究実施自治体数：4自治体						
[事業目的] 県外の恐竜をはじめとした学術価値および注目度の高い化石を対象に、その産出地組織である4自治体（長崎市、天草市、岐阜県、徳島県）と共同発掘を含む研究調査や化石クリーニングを行うことにより、国内における恐竜研究の拠点化とネットワークの形成を図るとともに、恐竜博物館内の展示の充実につなげていく。												
[事業内容] (1) 九州地方恐竜・哺乳類化石プロジェクト ・長崎市白亜紀後期脊椎動物化石共同発掘・調査研究事業（長崎市） ・天草市白亜紀恐竜化石・古第三紀哺乳類化石共同調査研究事業（天草市立御所浦白亜紀資料館） (2) 中部地方恐竜化石プロジェクト ・岐阜県白亜紀前期恐竜化石共同調査研究事業（岐阜県博物館） (3) 四国地方恐竜化石プロジェクト ・徳島県白亜紀前期恐竜化石共同調査研究事業（徳島県立博物館）												
[受益者] 恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 約90万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 (実績)					関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 海外恐竜化石調査共同研究事業 (役割分担) 海外における共同研究は、海外恐竜化石調査共同研究事業において実施				
市町との連携状況						他県の状況						

恐竜化石等共同調査研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H22 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,890				1,890							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		6,753	6,752	2,040	2,040	1,890	長崎市からの化石クリーニング受託業務完了に伴う減額					
2月現計予算額の推移		6,753	6,752	2,040	2,040							
決算額の推移		6,739	6,733	120								
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	論文等及び講演回数 (目標)	-	-	-	-	-			研究内容によって回数変動するため、目標数値の設定にはなじまない。			
	実績	47										
活動指標	共同研究相手自治体等 (目標)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)			長崎市、天草市、岐阜県、徳島県の4自治体			
	実績	4	4	4	4	4						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
長崎市、天草市、岐阜県、徳島県での調査を継続								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	150	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

海外恐竜化石調査共同研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみ広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
国際的な恐竜研究の拠点化とネットワークの形成、展示の充実						共同研究国数：2か国						
[事業目的] 国外の恐竜をはじめとした学術価値および注目度の高い化石を対象に、その産出地国と共同発掘、研究調査、化石調査等を行うことにより、恐竜博物館の国際的な拠点化と恐竜研究ネットワークの形成を図るとともに、恐竜博物館内の展示の充実につなげていく。												
[事業内容] (1) タイにおける恐竜化石の発掘調査(第4期発掘調査) 姉妹提携機関であるシリントーン博物館および珪化木鉱物資源東北調査研究所と共同で、タイ東北部における恐竜化石発掘調査を実施 ・ 恐竜博物館の研究員が現地(タイ東北部)に赴き、発掘調査指導および化石クリーニング指導を実施するとともに、共同調査を実施 ・ 姉妹間関係を締結したタイ・シリントーン博物館との研究交流を実施 (2) 中国における恐竜化石の共同研究(第4期発掘調査) 姉妹提携機関である中国浙江省の浙江自然博物館の研究員らとの共同で、恐竜化石研究を実施 ・ 研究員が中国浙江省に赴き、化石クリーニング指導や現地での共同研究を実施												
[受益者] 恐竜博物館来館者						[想定される受益者数] 約90万人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 恐竜化石等共同調査研究事業 (役割分担) 国内における共同研究は、恐竜化石等共同調査研究事業において実施				
市町との連携状況						他県の状況						

海外恐竜化石調査共同研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	ブランド課	課長名	長谷川 慎司	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	24,828				24,828							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		28,066	26,834	25,551	25,551	24,828	委託料の見直しに伴う減額					
2月現計予算額の推移		26,898	26,834	9,379	1,535							
決算額の推移		24,108	26,293	7,282								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	論文等及び講演回数 (目標) 実績	-	-	-	-	-			研究内容によって回数変動するため、目標数値の設定にはなじまない。			
活動指標	共同研究相手国 (目標) 実績	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルスの影響により、中国における調査を延期。タイにおける調査をリモートにより調査に参加								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	723	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		